

山 ゆ り

7-8 月号 No362 2015 年 7 月 1 日

初号発行: 1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax: 045-364-6515 メール: VZM03024@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/yamayuli/>



■ 5 月 : 5/31 丹沢クリーンハイク

参加者 : 稲本 曾根 和田 島(で) 松田 島(栄) 田村 草野 (8 名)

神奈川労山主催の恒例の丹沢クリーンハイクに山ゆりの会から 8 名が参加した。週間予報では雨が予想されたが、幸い降られることはなかった。半月以上の晴天とここ数日の 30 度を超える真夏日のことを考えるとそろそろ一雨ほしいと雨を期待していたのだが-----。そのおかげ

というか、幸いにもヤマビルに悩まされることはなかった。

茶畑を登り切ったあたりから例年見られるサイハイランはもうほとんど咲き終わっていた。期待していたキンランも咲き終わっていた。ギンランはいつも見かけるあたりに姿さえ確認できなかった。さては盗掘?にあったか。

三廻部林道を横切るあたりの谷側にはまたあらたに缶、ビン、ペットボトルが散乱し危険のない範囲で収集した。

山頂で昼食・休憩、緑の多い気持ちの良い山頂だ。昼食後は、県民の森を例年とは違うコースで下山する。ミズキ、ノリウツギ、ヤマボウシの白い花が例年より多かったか----。駐車場には 10 台ほどの車が駐車していた。駐車場付近は例年ヤマビルの多いところだが、今年はだれも被害が無かった。ここから、河原へ下り、黒竜の滝を見ながら、対岸の西山林道にでる。

西山林道は、新しい護岸や砂利など、また途中距離は短いが舗装区間もあり幾分整備しているようだ。

林道の谷側には相変わらずビン、カン、



5/31 丹沢クリーンハイク

ペットボトルが目につく。危険でないところは降りて拾う。ビン、カンならいいが、タイヤを拾ってしまう。山ガールたちの活躍だ。二つあったが、一つは地中に埋まっているので、無理に掘り上げず、一つだけを引き上げる。まん中に棒を通して二人交代で大倉のバス停まで運ぶ。大倉で計量する。今年の山ゆりの成果は、

燃えるごみ 1 kg、燃えないゴミ(ビン、カン、タイヤ) 15.2 kg、合計 16.2kg であった。(K)

■ 4月：4/12 城山から草戸山へ

参加者：小野寺 小島 大野 西村 和田 稲本 大内 河野 田村 草野(10名)

●カタクリの里は、カタクリの花は終わっていたがそれでも花盛り。500 円の価値はあった？カタクリの里から城山湖までの登りは初めて歩くコース。城山湖は桜が満開。草戸山の山頂はちょうど昼時で、おおぜいの人で満杯。ちょっと長かったが、高尾駅まで歩き解散。この季節にうってつけのコース。(K)

●なんと日曜日だけの晴れの日がやまゆりの会山行だなんて、参加者全員晴れ女と晴れ男！！橋本駅からかたくりの里への臨時バス 230 円で 15 分も乗ったのでしょうか。駐車場には大きく成長した花桃の木が赤く満開の花でお出迎えをし



5/31：タイヤで遊ぶ山ガール山ボーイ？



4/12：城山湖→草戸山

てくれていました。入園料 500 円を払って中に進むと早速斜面両側にツバキの初めてみる品種が迎えてくれる。カタクリは、残念ながら通常の紫の花はもう終わっていて、その代わり黄色のカタクリが満開でした。

園内を順路に従って歩く。オオイワカガミ、コケモモ、ユキワリソウ、キクザキイチゲ、シラネアオイ、チャルメルソウ、オキナグザ、ヤマブキソウなどの草花や色々なツバキ、ほうき桃 ミツマタ、ヤシオツツジ、ウメ、サクラなどの木々の花々が所狭しと咲いている。花の撮影目的で来ている人も見かけました。まだまだ見ていたかったのですが、置いて来ぼりになってしまい急ぎ出口へ。

外に出て、皆でお店にある酒まんじゅうでおやつの時間も楽しみました。入園料500円は、入ってみて納得の値段。

カタクリの里を出て、城山湖へ向かう。尾根まねの登りこそ急だったけれど、尾根に出ると城山までなだらかで、ヤマザクラも少し残っていて快適なコース。城山湖の神社の階段など何度か短いけれど急登に息を切らせましたが「体重を落とせ」と山の神に注意されているようでした。山を降りると忘れてしまう。また行きたいので頑張らなくては・・・。

草戸山で昼食、ここは城山湖を見下ろす展望が良いので、昼食をとるグループで満員状態。下りは JR 高尾駅まで歩く。今回も楽しい山行でした。(和田悦子)



遠くには雪を頂く山々が、きつかった登りのこともしばし忘れるほど展望を楽しむことができました。男山からは一気に下り林道に、長い林道を歩いて登山口に14時到着しました。(河野正典)

■特別山行:4/29-30 天狗山-男山

参加者：稲本 大内 豊留 和田 河野
加藤 田村 松田 草野(9名)

●久しぶりに前泊の山行に参加しました。天気に恵まれ 1800m余の天狗山と男山を満喫することができました。

馬越峠から直登で一気に尾根まで登りましたが明るい広葉樹林の道で気持ちよく歩けました。天狗山には予定より早く到着、頂上は狭く石の祠がありました。男山への道はアップダウンを繰り返し、岩場あり、狭い尾根道もあって、思った以上に時間がかかりました。登山道沿いにはミツバツツジやシャクナゲが多く、花の咲く季節も楽しめそうなコースです。

男山頂上直下の最後の急登を登りきると360度遮るものがない男山山頂。眼前には残雪が残る八ヶ岳とそのすそ野が、

●このコースは24年前の1991年5月の特別山行で一度来ているが、泊まった宿も、コースの記憶もほとんどない。信濃川上駅で電車組7名と車組2名の全員合流し宿まで歩く。翌日宿の車2台に分乗して馬越峠へ8時到着。ここで一行の一人N子さん体調不良で残念ながらリタイア。馬越峠は標高が1600mを越えているので天狗山までは標高差200ほど。尾根までいきなりの急登だが、あとは山頂まで比較的なだらか。天狗山の山頂は360度の展望。ここから男山までは、岩場のアップダウンが続く。岩は堅く、乾いているのでフリクションがきいて不安はない。11時30分男山山頂着。360度の展望を楽しみながら宿の弁当で昼食。近くに金峰、瑞牆が正面には八ヶ岳、遠く南アルプス、中央アルプスなどの残雪の白い峰峰が良く見える。北アルプスや浅間方面は霞んでいてははっきり確認できない。

山頂で河野さんの入れた本格
コーヒーの味が格別だった。1
時間ほど山頂にいて下山、14
時登山口の林道に無事下山。好
天に恵まれた一日であった。
(K)



■ 5月：5/10 籠坂峠から 三国山

参加者：遠藤 小野寺 小島
大野 曾根 和田 豊留 大内 松田
河又 田村 草野 (12名)

籠坂峠から三国山まではなだらかな尾
根、ブナやカエデの新緑、バイケイソウ
の緑が目にも優しくかった。ヤマシャクヤク
はまだつぼみが硬かった。山中湖への下

りの道が最後まで発見できなかった。下
りの位置が記憶違いだったのか？あのブ
ナの巨木を見ることができなかったこと
はまことに残念な思いだ。(K)

■ 7、8月の定例山行はお休みです。

■ 9月予定：9月13日(日)

■ 10月予定：10月18日(日)

・9、10月の詳細は8月号でお知らせします。

■ 例会の予定

- ・7月21日(火)：7月例会
- ・8月18日(火)：8月例会

あとがき ・憲法第九条 日本国民は、正
義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求
し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇
又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段
としては、永久にこれを放棄する。2 前項の
目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、
これを保持しない。国の交戦権は、これを認め
ない。 ・国会の憲法審査会で三人の憲
法学者が安倍政権の戦争法案は明確に「違憲
=憲法9条違反」と証言。その一人は自民党
の推薦した学者である。学者の違憲証言に
「決めるのは政治家だ」の自民高村氏発言に

は唾然。これを会期延長してまで通すとは言
語道断。 ・安倍総理よ、憲法九十八条「こ
の憲法は、国の最高法規であつて、その条規
に反する法律、命令、詔勅及び国務に関する
その他の行為の全部又は一部は、その効力を
有しない。」、憲法九十九条「天皇又は摂政
及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公
務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負
ふ。」があるのをご存知か。

・6/3 全国公害被害者総行動に行ってきた。
公害企業チッソと昭和電工が垂れ流した有機
水銀中毒である水俣病はいまだ終わっていな
い。霞ヶ関に患者と家族たちの叫びがこだま
した。

- ・「生命返せ」たすき揃へて梅雨のデモ
- ・戦争の牙研ぎすます梅雨の間 【K】